

誰かのためにつくる喜び

「おいしい」って一言が、わたしの料理をつくる原動力。

5歳の息子は好き嫌いが多く、手付かずの料理に母としては自信をなくす日々。母に相談すると苦手な食材を細かくして作るハンバーグのレシピなどを教えてくれました。早速そのレシピ通りに作ると息子はパクパクと食べ、ついにおかわりまで。嬉しくて母に報告すると私も好き嫌いが多くの苦労したとの事。当時試行錯誤しながら料理をしてくれた母と自分が重なり感謝の気持ちが溢れました。

愛情レシピ



小5の娘が林間学校で作ったというカレーライスを作ってくれました。慣れない包丁を持つ手にこちらがドキドキでした。取りかかつてから2時間、やっとカレーのいいにおいがしてきて安心しました。主人と食卓に座るといつも私が作るのと同じゆで卵入りの野菜たっぷりサラダもありました。自分が作るカレー以上に本当においしく感じ娘の成長をうれしく思う一日となりました。ありがとうございました。

娘のカレーライス

クイズの付いたお弁当

息子が幼稚園に通い始め、お弁当を作ることになった。毎回、色とりどりと栄養バランスで何を入れるか悩んでいる。ある時、クイズ好きな息子の為にお弁当の蓋の上にクイズを付けた。メモにひらがなで「しゅうまいはなんこある?」と書いて貼つてみた。帰つて来て「全部食べたよ。クイズ簡単だった。またクイズ出して。」と言つてくれた。何を入れるかは毎回悩むが、息子が楽しく食べているようなのでクイズ付きお弁当を毎回作っている。

父の作ったジュース

結婚式前夜、母がおもむろにビンを開けた。深紅色の液体をグラスに注ぎ、「これはお父さんが作った山ぶどうのジュース。今夜はこれでお祝いしよう。」と。生前の父が私達のために作つたものだと思うと、溢れる涙をとめることができず、母と一緒に泣いたあの夜。

父と過ごせた月日はとても短しかったけれど二人の娘で本当に良かったと心から思つた。お父さん、お母さん、ありがとうございます。

※写真はイメージです。



おいしい たのしい あったかい — フィールコーポレーション

Take Free ご自由にお持ちください

GOOD FEELING

美味しく 感じる つながる 食生活のためのコミュニケーション誌 グッドフィーリング

2020 Winter

特別号

フィール
食卓の
たからもの

おい
しき
り



フィール
食卓の
ありがとう!
2019年 フィール 食卓のありがとう
「優秀作品」発表!

食卓にまつわる“感謝の気持ち”的エッセイ募集に多数ご応募いただき誠にありがとうございました。

今回は、2019年・秋の募集より選ばれた10名の方の「優秀作品」を発表。

「グッドフィーリング」特別号としてお届けします。



本仕込食パン

このエッセイ募集キャンペーンは、フジパンのご協賛により実施致しております。

フジパン

料理が育む家族のしあわせ

いつものメニューも一緒に食べれば、もっとおいしい。

私の楽しみは、中学生の孫といっしょに手作り餃子を作ることです。脂のある豚バラ肉をコロコロに切りアンにするのが我が家流。野菜たっぷり栄養満点。今では、孫の方が、じょうずにアンを包みます。家族全員集合すると大皿いっぱいの餃子があつて、毎日空っぽです。孫のおかげで、元気な日々が、ずっと続く世の中ありますように。

大皿いっぱいの幸せ



7歳、3歳、0歳の我が家の子ども達。主人は出張中の為、母である私が一人で3人の相手をしているので毎日バツタバタの生活です。元気一杯、ワガママ一杯、涙一杯、そんな中で笑顔杯になるのが食事の時。3人共何よりも食べる事が大好き!どんなお野菜だって絶対残しません。食事の時間のとびきりの笑顔を見ると一気に疲れも飛びパワーへと変えてくれます。そしていつもおいしく食べてくれる事に感謝の気持ちでいっぱいです。

フィール 食卓の たからもの

2019年 フィール 食卓のありがとう
「優秀作品」発表!



心をつなぐ食卓タイム

何気ない食卓の時も、家族の絆が深まる大切な時間。

中学生の娘はいつも走っている。遅刻しそうな朝、部活、学校行事の準備…。体も走るが心もいつも走っている。勉強、友達に連絡、スケジュール調整。そんな彼女が唯一留まる食卓。大好きな食事の時間も口は忙しい。食べながら一日の樂しかった事、不満が口について出る。「おーい、味わってますかあ?」私の心の声。でも、そんな食卓に私は救われている。「只今、食卓にて体も心達は充電中!」

食卓充電



「肉も魚も野菜も、美味しく食べられる様に育ってくれてありがとう。」
大学生になり、友達と食ベログって家で夕飯も一緒になかなか食べなくなつた娘が、突然言った。「何でも食べられる子の方が少ないの。」彼女はボヤいた。好き嫌いなく食べられる自分は幸せ者だと痛感したんだとか。
娘よ、私からも感謝を伝えよう。「ありがとうございました『美味しいね。全部食べちゃう』といつも『食べててる顔がすきだよ。』

ママの顔、見せて!

ある日テーブルに夕飯を並べると、息子たちが「ママおかおみせて!」と言つてきました。「なんで?」ときくと「いただきますはごはんを作ってくれた人の顔を見て言うんだよ。」と教えてくれました。保育園の先生が食育の時間に言つていたそうです。それ以来息子たちは毎食私に『ありがとうございます』の意味を込めて目を合わせていただきました。息子にも保育園の先生にも感謝の気持ちでいっぱいです。



親子でクッキング



毎週末になるのが待ち遠しい。子どもたちと昼ご飯を作るのだ。普段はママの作ったコロッケやハンバーグ等を「美味しい」と言つている子どもたちだが、週末はちょっと違う。
「手伝うからパパのカレーが食べたい。」と言う子どもたち。じゃがいもや玉ねぎの皮むきを頑張つてくれたおかげで美味しいラングを楽しみたいと思います。

娘のありがとう

※写真はイメージです。